

視聴覚教育

NO.298

発行日

15.12.12

発行

岡崎市AVL

編集

現職教育委員会

学習情報部

視聴覚教育＝情報教育の風潮に思う

第7回視聴覚教育総合全国大会から

学習情報指導員 杉浦 修

11月6日(木)・7日(金)に山口市で行われた視聴覚教育総合全国大会に参加した。

初日の全体会では、「感動のある学びと豊かに生きる力を育む視聴覚教育」を主題にシンポジウムが行われ、2日目は「心に強く感じその感動をみんなと共有し新たな創造へ」をテーマに、12の分科会で授業研究と討議が行われた。また、並行して全国自作視聴覚教材コンクールの表彰式と作品発表会があり、岡崎市の3作品もそこで表彰された。

2日間の日程の中で、「視聴覚教育」の在り方について、学び、考えさせられることがあった。その一端を述べたい。

実は、今から30年ほど前には、「視聴覚教育は教育工学である」といったような風潮があり、視聴覚教育はその存在意義を問われた時代があった。また近年、「視聴覚教育は情報教育である」といったような風潮が出始めている。私の中には、本当にそうだろうかという疑問が常にあった。特に強く感じていることは、あまりにメディアそのものを追っかけすぎてはいないだ

ろうかということである。

視聴覚教育の基本は感性的、具象的な経験を生かして、確実な認識に近づけていくことである。とすれば、学校教育や社会教育の中にあつて、「学ぶ」ことの有り様は、学びを感動的なものにし、質を高めることによって、生きること

を豊かなものにするのである。学習内容を文字や音声言語で「分かった」とする理解の仕方に止めず、直接触れたり行動したり、視覚や聴覚を代表とする五感に働きかけながら、感動という情意的な作用を起こすことによって、心情を伴った認識にまで昇華させるところに意義がある。そういった意味では、「視聴覚教育は情報教育である」とは言えないのではないだろうか。



視聴覚用語

ジップ「ZIP」
大きなファイルやフォルダのデータを圧縮するやり方のひとつ。ZIPで圧縮したファイルの拡張子は「.zip」。アメリカのウィンドウズユーザーの間でよく使われる。そのほかにもLHAやsoftwinなどもある。

「視聴覚教育あれこれ」 学校インターネット研究発表会に 参加して

岡崎市立竜南中学校 小田哲也

10月29日(水)・30日(木)の両日、東京都三鷹市にて、文部科学省より学校インターネット事業の委託を受けた通信放送機構(TAO)の主催する研究発表会が行われた。学校インターネット事業は、平成11年から始まり、本年度が最後年度である。

岡崎市はこの事業により、各学校から高速インターネットができるようになり、さらには日常利用する職員のメールや光ファイバーによる高速通信が実現した。

発表では、広島市のライブカメラを利用した総合学習や茨城県の無線LANを利用した調査活動など、各地域の代表にふさわしい高度な研究の成果が上げられました。

岡崎市からも、学校インターネットの実践から、常磐小・常磐中によるJA岡崎とのテレビ会議授業、竜海中学校のグループウェアを利用した首都移転についての社会の授業、小豆坂小学校での無線LANを利用した町探検の授業の三点の実践を報告した。これら実践をそれぞれ検証し、授業でコンピュータが有効に利用できるために、ネットワークの高速化、学習コンテンツの充実、サーバによるネットワーク管理を、この五年間で進めてきたことを発表してきた。日本各地の参加者をはじめ、主催者や助言者の方々から高い評価を得ることができた。

「実践報告」

オリジナルシール作りに挑戦！

山中小学校 浅野 博志

5年生の総合的な学習の時間において、「ふるさと山中小マップ」を作成した。学区のさまざまな歴史や自然について、一人一人が調べ、それをホームページにまとめるといふものである。まとめただけでは知識の共有化が難しいので、「とっておきの問題」と題して、自分が調べたことの中からクイズを作り、友達に出題し、ホームページを見ながら答えてもらうことによって、調べた内容の広報をしようと考えた。

さらに、意欲づけを行うため、自分の問題を正解した友達に、自分で作ったシールをプレゼントすることにした。専用ソフトを利用し、自分が調べた事柄に係するイラストや写真を取り入れ、自分の名前と「おめでとうー！」などのメッセージを印刷することにした。

シール作りは、比較的簡単ででき、子どもたちの満足度も高く、意欲付けに効果的な方法だと感じた。今回活用したソフトは



A-one(エーワン)の「ラベルやさん21」。このソフトはエーワンのホームページから無料でダウンロードできる。対応用紙は同社の物のみだが、種類も豊富で、ネームシールやインデックスなど多岐に渡って利用できる。

インクジェットプリンタから印刷される自分のシールをわくわくしながら覗き込む子供たちの姿。ちょっとした小道具だが、子供たちの活動の意欲化につなげることができた。

「レッツ・トライ」

グリーンマップ3を使った地理の授業

中学2年生の社会科地理的分野の学習の「過疎」の単元の導入として、今年度のパソコン教室更新に伴って導入されたソフト「グリーンマップ3」(東京書籍)を利用した。

まず、学習対象となった津具村の映像を見せ、次に、生徒たちに「グリーンマップ3」を使って、津具村の位置を探させた。「グリーンマップ3」の衛星画像を使った地図を見ると、平野と山が一目瞭然であり、生徒たちは、愛知県の奥三河方面を中心にクリックしながら津具村を探していた。

見つかった生徒から順に、津具村付近の地形を鳥瞰図の機能を使って表示させ、それをノート代わりに使用したパワーポイントに貼り付けさせた。このソフトでは3Dで表示された地形を自由に動かすことができるので、生徒たちは興味を持って、地形を眺めていた。津具村は山に囲まれた村であるのだが、鳥瞰図を使うと、それを視覚的に理解できる。

さらに「グリーンマップ3」には、人口密度や気温などを細かく色分けできる機能もある。愛知県の市町村を人口密度が高い順に並び替えることもできる。自分たちの住んでいる岡崎市と津具村の人口密度を比較したり、気温の差を比較したりすると、違いが明確になり、生徒たちの理解を助けることができる。

同時に導入された「グリーンマップ世界編」も、地球をグルグル回しながら様々なデータを見ることができるので、地理の学習に非常に役立つと思う。
(竜海中学校 神谷耕一)

ライブフリーだよ

ふるさと岡崎メディアコンクール

締め切り近し！

12月20日(土)が締め切りです。ふるってご応募ください。応募の詳細については、ライブフリーホームページに！

[http://www.city.okazaki.ai.chi.jp/oa/ii-brary_home_page.htm]

ノンリニア編集講習会を行います！

平成16年1月より、視聴覚ライブフリーにおいて、ノンリニア編集(パソコンを使ったビデオ編集)の講習会を行います。ご参加ください。

期 日 毎月第2土曜日(午前9時～11時30分)

場 所 視聴覚ライブフリー

内 容 Aコース 基礎的な編集知識・操作テクニクの習得

Bコース 受講者が撮影した素材による作品編集

機 材 ローランド社 DV7R(ノンリニア編集専用機)

対 象 市内在住・在勤の18歳以上の方

募集人員 毎月2人又は2グループ程度

申込方法 受講希望日の1ヶ月前までに、電話または直接ライブフリー窓口へ

その他 A・Bのいずれのコース修了者にも、「ノンリニア編集講習会修了証」を交付します。引き続き、同編集機の利用ができるようになります。

